

江の川水系八戸川流域河川整備計画(原案) 変更箇所一覧

○江の川水系八戸川流域河川整備計画(原案) 本文

目次		ページ	第2回委員会(素案)	第3回委員会(原案)	委員会での意見、変更理由等	
1. 流域と河川概要		p1	<p>〔1段目〕 八戸川は、その源を島根県邑智郡邑南町の広島県境付近の中国山地に発し、途中邑南町において生家川、日貫川等、浜田市において都川川、重富川等、江津市において家古屋川、日和川等の支川を合わせて一級水系江の川に注ぐ、幹川流路延長32.63km、流域面積約303km²の河川です。</p> <p>図-1.1.1 江の川水系八戸川流域図 庄原ダム:建設中ダム</p>	<p>〔1段目〕 八戸川は、その源を島根県邑智郡邑南町の広島県境付近の中国山地に発し、途中邑南町において生家川、日貫川等、浜田市において都川川、重富川等、江津市において家古屋川、日和川等の支川を合わせて一級水系江の川に注ぐ、幹川流路延長32.63km、流域面積約300km²の河川です。</p> <p>図-1.1.1 江の川水系八戸川流域図 庄原ダム:既設ダム</p>	<p>【事務局修正】 ・数値の精査</p>	
	(自然環境)	p2	<p>〔生物写真〕 出典:自然環境課HP</p>	<p>〔生物写真〕 写真:改訂しまねレッドデータブックHP</p>	<p>【事務局修正】 ・出典表記の変更</p>	
	(河川の特徴)	p3	<p>〔生き物調査写真〕</p>	<p>〔生き物調査写真〕 写真:市山環境保全会</p>	<p>【事務局修正】 ・出典の追記</p>	
3. 河川整備計画の目標に関する事項	3.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項	(1)過去の洪水概要、治水事業の沿革	p6	<p>〔7~8段目〕 近年では、平成25年8月に県西部を中心に記録的な大雨が降り、…、農地・宅地浸水や家屋被害が広がりました。 また、これら下流部の河道改修に向けて計画策定を進めていたところ、平成30年7月に再び豪雨に見舞われました。この豪雨では江の川本川の水位上昇により背水(バックウォーター)現象が生じたことから、主に下流部で農地・宅地浸水などの被害が多発しました。この災害を受け、江津市桜江町小田地区の八戸川において河川災害関連事業を実施しています。</p>	<p>〔7~8段目〕 近年では、平成25年8月に県西部を中心に記録的な大雨が降り、…、農地・宅地浸水や家屋被害が生じました。 また、平成30年7月にも再び豪雨に見舞われ、江の川本川の水位上昇により背水(バックウォーター)現象が生じたことから、主に下流部で農地・宅地浸水などの被害が多発しました。この災害を受け、江津市桜江町川戸~今田地内の八戸川において河川災害関連事業を実施しています。</p>	<p>【事務局修正】 ・文章の精査(国土交通省協議より)</p>
		(2)洪水による災害の発生防止又は軽減に関する目標	p10	<p>〔2段目〕 また、整備段階での洪水や計画規模を上回る洪水に対しても被害を最小限に抑えるため、インターネット等によるリアルタイムの河川水位や雨量情報の提供を行うほか、危険箇所や避難場所等を地図上に示した防災ハザードマップの普及推進などにより平常時から防災意識の向上を図ります。</p> <p>図-3.1.1 島根県によるリアルタイム水位・雨量情報の提供観測所</p>	<p>〔2段目〕 また、整備段階での洪水や計画規模を上回る洪水に対しても被害を最小限に抑えるため、インターネット等によるリアルタイムの河川水位や雨量情報の提供、河川監視カメラの整備を行うほか、危険箇所や避難場所等を地図上に示した防災ハザードマップ(※1)の普及推進などにより平常時から防災意識の向上を図ります。</p> <p>図-3.1.1 島根県によるリアルタイム水位・雨量情報の提供観測所</p> <p>※3) 危機管理型水位計:洪水時の観測に特化した低コストな水位計であり、島根県では平成31年3月より導入し、県内中小河川の水位観測網の充実を図っている。</p>	<p>【アンケート結果より】 ・「カメラの設置」の要望が多い</p> <p>【事務局修正】 ・H31年3月に八戸川の長尾橋に危機管理型水位計を設置したことにより追記(第2回委員会にて紹介)</p>
	3.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項	(1)過去の湯水概要、水利用の状況	p12	表-3.2.1 八戸ダム地点流況表(流域面積164.0km ²)	表-3.2.1 八戸ダム地点流況表(流域面積164.68km ²)	<p>【事務局修正】 ・数値の精査</p>
	3.3 河川環境の整備と保全に関する事項	(1)河川環境の現状と人々との関わり	p14	<p>〔3段目〕 沖積平野の水田地帯を流れる下流部には堤防が築かれており、沿川に竹林が続きます。江の川に合流する最下流部はコンクリートの堤防区間となります。河床材料は礫や砂が主体で、広い瀬の区間が多く見られるようになり、湾曲部には広い河原も形成されています。</p>	<p>〔3段目〕 沖積平野の水田地帯を流れる下流部には堤防が築かれており、沿川に竹林が続きます。河床材料は礫や砂が主体で、広い瀬の区間が多く見られるようになり、湾曲部には広い河原も形成されています。</p>	<p>【事務局修正】 ・文章の精査(国土交通省協議より)</p>
p17			<p>〔2段目〕 また、河床材料の変化に富んだ清流を好むズナガニゴイや、…、ゲンジボタルなども流域に広く分布しています。山付淵にはヤマセミやオシドリなども生息しています。</p> <p>〔生物写真〕 出典:自然環境課HP</p>	<p>〔2~3段目〕 また、河床材料の変化に富んだ清流を好むズナガニゴイや、…、ゲンジボタルなども流域に広く分布しています。山付淵にはヤマセミやオシドリなども生息しています。 そのほか、近年ではカワウやサギ類の飛来が多く目撃され、内水面漁業や農作物等への影響も懸念されています。</p> <p>〔生物写真〕 写真:改訂しまねレッドデータブックHP</p>	<p>【第2回委員会の意見より】 ・鳥の被害について、記載してほしい</p> <p>【事務局修正】 ・出典表記の変更</p>	
表-3.3.1 八戸川流域で確認された主な動植物 <魚類> オヤニラミ(島CR+EN,環VU) カジカ中卵型(島VU,環EN)			表-3.3.1 八戸川流域で確認された主な動植物 <魚類> オヤニラミ(島CR+EN,環EN) ウツセミカジカ中卵型(島NT,環EN)	<p>【事務局修正】 ・種名表記(改訂しまねレッドデータブックの表記に準拠) ・カテゴリ修正</p>		

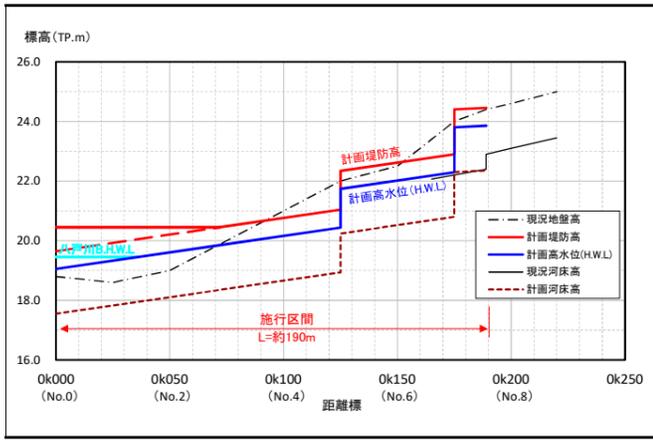
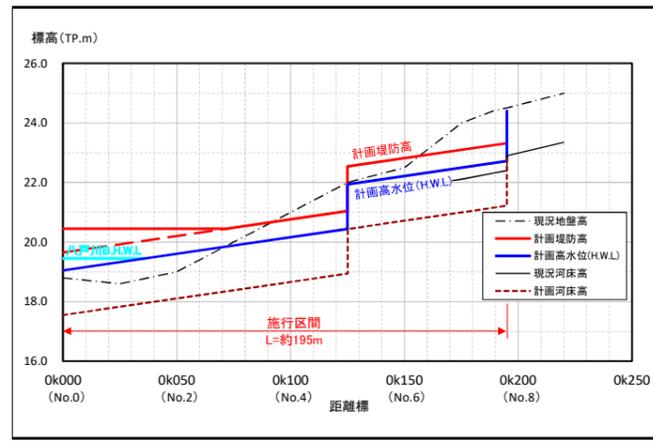
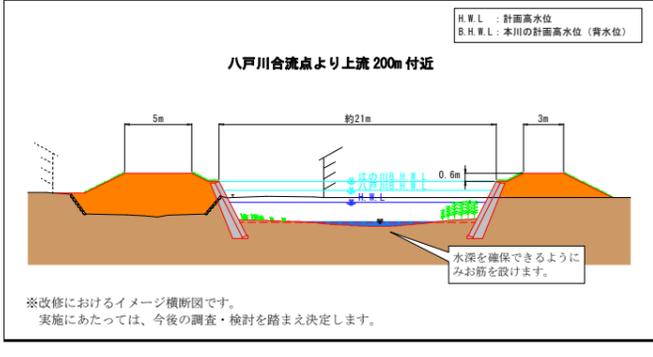
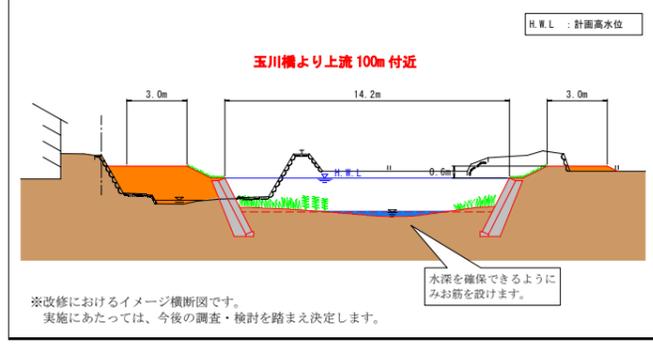
江の川水系八戸川流域河川整備計画(原案) 変更箇所一覧

○江の川水系八戸川流域河川整備計画(原案) 本文

4. 河川の整備の実施に関する事項	目次	ページ	第2回委員会(素案)	第3回委員会(原案)	委員会での意見、変更理由等
	4.1 河川工事の目的、種類及び施工の場所並びに当該工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要	p22	<p>図-4.1.4 河道の横断面形(八戸川) (S=1/1000)</p>	<p>図-4.1.4 河道の横断面形(八戸川) (S=1/1000)</p>	<p>【事務局修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水位線が多く紛らわしいので、実績水位線削除・波線削除(国土交通省協議より)
		p23	<p>図-4.1.5 河道の縦断面形(八戸川)</p>	<p>図-4.1.5 河道の縦断面形(八戸川)</p>	<p>【事務局修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面図に併せて旗揚げ修正(国土交通省協議より)
	[1段目] 八戸川合流点から上流約190m区間において、...	p24	<p>図-4.1.6 平面図(枕の滝川) 図中旗上げ: 施行区間 L=約190m</p> <p>図-4.1.7 整備計画目標流量図(枕の滝川) 図中旗上げ: 施行区間 L=約190m</p>	<p>図-4.1.6 平面図(枕の滝川) 図中旗上げ: 施行区間 L=約195m</p> <p>図-4.1.7 整備計画目標流量図(枕の滝川) 図中旗上げ: 施行区間 L=約195m</p>	<p>【事務局修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦断計画変更に伴う施行延長の変更(設計業務における検討)
		p25	<p>図-4.1.8 河道の横断面形(枕の滝川)</p>	<p>図-4.1.8 河道の横断面形(枕の滝川)</p>	<p>【事務局修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> 護岸高の変更(設計業務における検討)

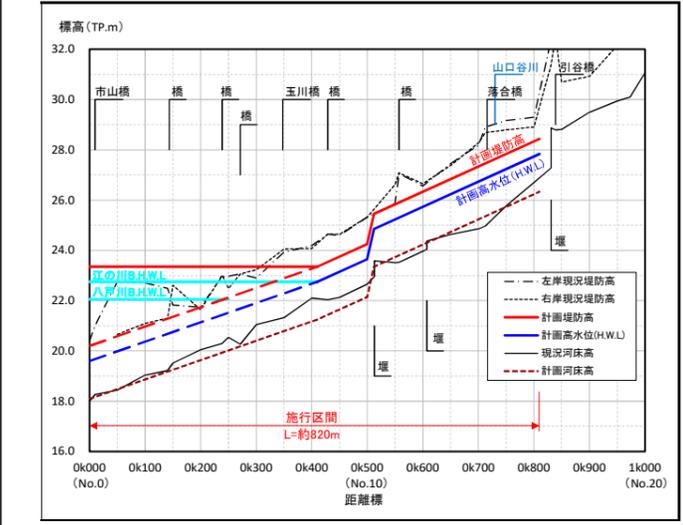
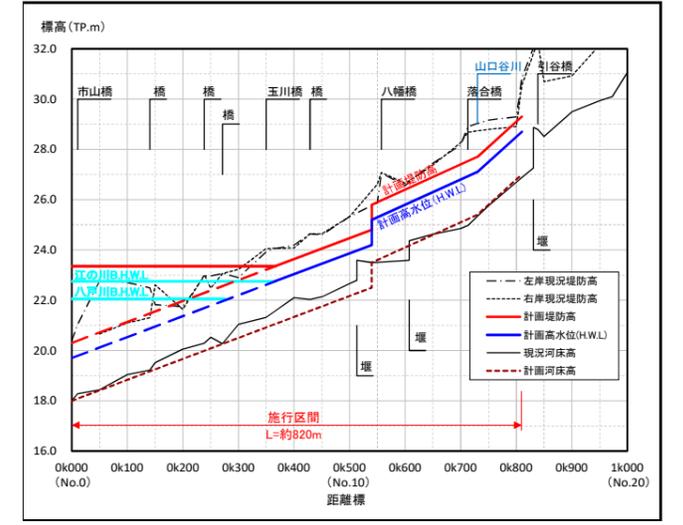
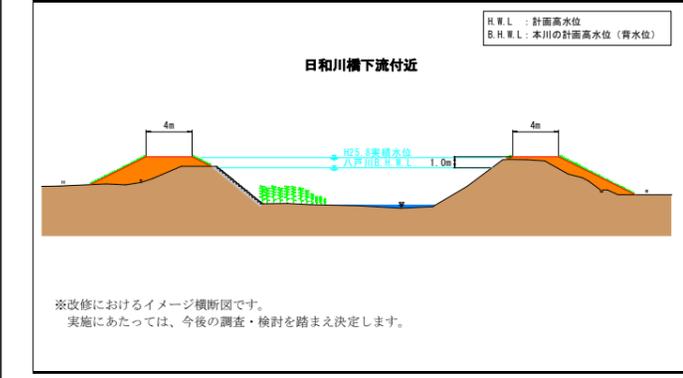
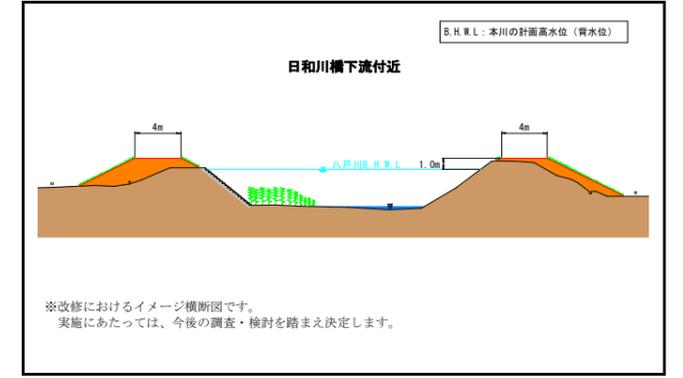
江の川水系八戸川流域河川整備計画(原案) 変更箇所一覧

○江の川水系八戸川流域河川整備計画(原案) 本文

4. 河川の整備の実施に関する事項	目次	(2)当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要	ページ	第2回委員会(素案)	第3回委員会(原案)	委員会での意見、変更理由等
	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要	(2)当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要	p25	<p>図-4.1.9 河道の縦断形(枕の滝川)</p>  <p>図-4.1.9 河道の縦断形(枕の滝川)の素案。縦軸は標高(TP.m) 16.0~26.0、横軸は距離標 0k000(No.0)~0k250(No.8)。計画堤防高(赤線)、計画高水位(HWL)(青線)、現況河床高(黒線)、計画河床高(赤点線)を示す。施行区間 L=約190m。</p>	<p>図-4.1.9 河道の縦断形(枕の滝川)</p>  <p>図-4.1.9 河道の縦断形(枕の滝川)の原案。縦軸は標高(TP.m) 16.0~26.0、横軸は距離標 0k000(No.0)~0k250(No.8)。計画堤防高(赤線)、計画高水位(HWL)(青線)、現況河床高(黒線)、計画河床高(赤点線)を示す。施行区間 L=約195m。</p>	<p>【事務局修正】 ・縦断計画の変更(設計業務における検討)</p>
			p26	<p>図-4.1.10 平面図(玉川)</p>  <p>図-4.1.10 平面図(玉川)の素案。玉川、山口谷川、八戸川、市山橋、落合橋、市東、田中、引谷、城山、小田止、今田、松江町市山、標高300mを示す。施行区間 L=約820m。</p>	<p>図-4.1.10 平面図(玉川)</p>  <p>図-4.1.10 平面図(玉川)の原案。玉川、山口谷川、八戸川、市山橋、落合橋、市東、田中、引谷、城山、小田止、今田、松江町市山、標高300mを示す。施行区間 L=約820m (河津趾組、護岸整備)。</p>	<p>【事務局修正】 ・工事内容の追記</p>
			p27	<p>図-4.1.12 河道の横断形(玉川) (S=1/300)</p>  <p>図-4.1.12 河道の横断形(玉川)の素案 (S=1/300)。八戸川合流点より上流 200m 付近。H.W.L.: 計画高水位、B.H.W.L.: 本川の計画高水位(背水位)。水深を確保できるようにみお筋を設けます。</p>	<p>図-4.1.12 河道の横断形(玉川) (S=1/200)</p>  <p>図-4.1.12 河道の横断形(玉川)の原案 (S=1/200)。玉川橋より上流 100m 付近。H.W.L.: 計画高水位。水深を確保できるようにみお筋を設けます。</p>	<p>【事務局修正】 ・自己流区間の断面に変更(国土交通省協議より)</p>

江の川水系八戸川流域河川整備計画(原案) 変更箇所一覧

○江の川水系八戸川流域河川整備計画(原案) 本文

目次	ページ	第2回委員会(素案)	第3回委員会(原案)	委員会での意見、変更理由等
<p>4. 河川の整備の実施に関する事項</p> <p>4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要</p>	<p>(2)当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要</p>	<p>p27 図-4.1.13 河道の縦断形(玉川)</p> 	<p>図-4.1.13 河道の縦断形(玉川)</p> 	<p>【事務局修正】 ・縦断計画の変更(設計業務における検討)</p>
<p>5. 河川の整備を総合的に行うために必要なその他の事項</p>	<p>5.1 河川情報の提供</p>	<p>p28 図-4.1.14 平面図(日和川)</p>  <p>図-4.1.15 河道の横断形(日和川)</p> 	<p>図-4.1.14 平面図(日和川)</p>  <p>図-4.1.15 河道の横断形(日和川)</p> 	<p>【事務局修正】 ・工事内容の追記</p> <p>【事務局修正】 ・水位線が多く紛らわしいので、実績水位線削除</p>
<p>5. 河川の整備を総合的に行うために必要なその他の事項</p>	<p>5.1 河川情報の提供</p>	<p>p32 [2段目] 災害による被害の軽減を図るため、「島根県水防情報システム」等により、県内一円に配置した観測局で雨量・水位のデータをリアルタイムで収集、管理するとともに、「島根県総合防災情報システム」の「しまね防災情報」を通じて、流域の方々に河川に関する情報を提供します。</p>	<p>[2段目] 災害による被害の軽減を図るため、「島根県水防情報システム」等により、県内一円に配置した観測局で雨量・水位のデータをリアルタイムで収集、管理するとともに、「しまね防災情報」を通じて、流域の方々に河川に関する情報を提供します。</p>	<p>【事務局修正】 ・文章の精査</p>

※誤字、脱字等の修正は省略している。